



6/28 能美市男女共同参画推進委員会
7/2 粟生校下あいさつ運動
7/3 能美市民防災ネットワーク全体会

7/6 老人クラブ連合会 寺井支部 運動会
7/6 寺井中学校福祉授業

7/17 粟生町防災講演
7/24 市社会教育講座「防災」講師
7/25 寺井中学生との高齢者施設訪問

7/30 湯谷町夏祭り
7/30 佐野町夏祭り
7/31 ホランティアフェスティバル
8/6 県民体育大会開会式

8/7 末寺町夏祭り
8/19 石子町いきいきサロン
8/20 泉台町夏祭り

8/26 商工会女性部 防災研修会
8/28 県環境フェア
9/2 寺井高校体育祭
9/13 市民栄誉賞式典

9/4 能美市敬老会
9/16 子育てネット防災講演
9/24 粟生保育園運動会
9/24 小松工業高校総会議長

9/24 秋の茶碗祭り
9/28 市男女共同参画研修会
9/30 市PTA 連合会講話

たなか さくじろう
田中 策次郎

「絆きずな」～能美市政報告～



●田中策次郎 市政報告会開催！ (1p)

●9月議会 一般質問 (2p～3p)

- 能美市の将来的な歳入歳出の試算額を問う
- 市施設の年間の維持管理費を問う
- 効率的な行政経営の取り組みの進捗を問う
- 学校が避難所となる場合の開錠責任者は誰か
- 学校の災害対応のマニュアルと周知について問う

田中策次郎 市政報告会を開催！ 8月27日(土)三道山町公民館



日頃の議員活動の報告と市政や地域の課題などをお話させて戴きました。多くの方々にご参加頂きありがとうございました！これからも開かれた議会と議員活動に努めます！

開会にあたり
佐々木 紀 代議士
岡田 直樹 参議院議員
井出 敏朗 県議会議員
山田 修路 参議院議員秘書
宮本 周司 参議院議員秘書にご臨席・お言葉を戴きました。



当日は多くの方々にお集まり戴き大変感謝致します。参加された方々より激励やご指導のお言葉を頂き本当にありがとうございました。今後も、頂きましたお言葉を大切にしながら一生懸命に能美市政に取り組んでまいります。さらなるご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

スクラップアンドビルド(行政機構の集中化・効率化の実現)の進捗について問う

質 能美市の将来的な歳入歳出の額を どれくらいと試算しているのか

27年度から始まった普通交付税の縮減で今後は歳入額の減少があると考えます。将来的に考え、これまで通りの歳入歳出規模で市政を運営していくのは難しいと考えます。若者に将来的な負担を残していく事も避けなければなりません。市は将来的にも健全な自治体運営を行うため、どのような歳入歳出計画を立てているのか。

答 酒井 倂次郎 能美市長

市外からの企業誘致により、法人を中心とした税収等の増加で財政調整基金残高は27年度末で39億円余と増加しているが、今後の人口減少や高齢化に伴う諸要因により楽観は許されない。

能美市は今後の人口を4万8,800人と推計し町づくりを進め、高齢化による生産年齢人口の減少を定年の延長や女性の社会参加の促進の努力によって歯止めをかけ、雇用の場の拡充による法人関係税や個人所得税・個人市民税を維持し市税の確保に努めていくことが肝要。



答 吉光 年治 総務部長

歳入について普通交付税は当初試算額の約半分程度の減額と推計、固定資産税・地方消費税交付金は維持・増額が予想される。歳出について市建設計画事業は、おおむね完了し予算規模は縮小する見込みであり、公債費は低金利や償還期間の延長により単年度償還額は減少する。社会保障費等の必要なものは維持し抑制していく。

質 市施設の年間維持管理費を問う

市が管理する施設を維持していくために必要な維持管理費や老朽化した施設を取り壊し、また新たな施設を作る場合にも将来的な維持費の試算が必要となってきます。新しい施設は望まれるところですが将来的な負担を考えると市民と共に施設のありかたを検討していく必要があると考えます。現在、市全体での施設の維持管理費は年間おおよそどのくらい必要で、将来的にどの程度の削減が求められるのか、また主な施設の年間の維持管理費の額はいくらか

答 吉光 年治 総務部長

市公共施設の、修繕更新費用は今後40年間で年平均27億円。加えて年間維持管理費が7億5千万円、財政運営にも大きな影響を与える。今後は「新しく造る」から「賢く使う」という考えで公共施設の統廃合を含めた更新、長寿命化を実施し維持管理費の抑制を図る必要がある。主な施設の維持管理費では辰口市庁舎3千7百万円。根上総合文化会館3千4百万円。クワハウス九谷3千3百万円。



質 効率的な行政経営の取り組みの進捗を問う

市はこれまでも積極的に行政経営の健全化に取り組んできました。しかし職員の過度な削減などを行うと個々の仕事の負担が増え市民サービスの低下や様々な事業に対して、きめ細やかな配慮に欠けてしまう難しさもあります。本年度事業の、北陸先端科学技術大学院大学と連携しながらの行政評価システムの再構築の取り組みはどのように進んでいるのか

答 吉光 年治 総務部長

これまでも「政策立案能力の向上」「行政改革の推進」に取り組み、定員適正化計画により職員数の目標数値はすでに達成している。近年の団塊世代の大量退職により職員の負担増加や市民サービスの低下にならないように努めている。第2次総合計画を行政評価システムの再構築のタイミングとして施策の進捗度を管理するとともに、市民の声や外部有識者等の客観的評価を施策の成果指標に反映させながら施策の効果を検証するために、本年度能美市に合った行政評価システムの再構築を北陸先端大との共同研究として進めている。

小中学校の災害発生時の対応問う

質 小中学校が避難所となる場合の鍵責任者は誰か

避難所として小中学校などの施設が指定されているが、災害の発生が平日の夜間や土曜日曜であった場合には誰が責任をもって鍵を開けるのか。地域の中に鍵を開ける事の出来る教職員がいない場合も多く、教職員だけにこのような責任をゆだねるのは問題があると考えます。災害現場での事例の中でも公民館や学校へ自主避難した人が鍵を壊して入ったという話を多く聞いています。被災地での責任者の話の中では事前に壊す窓や扉の場所を決めておくべきではなかったのかという事まで話されていました。これには、何らかの対応が必要と考えます。

答 中嶋 敏一 教育長

避難所を開設する場合には、市職員または施設管理者が開錠を行うと定めているが状況によっては避難所の開設職員の参集が遅れる場合も考えられる。

このような場合を想定し、町会もしくは自主防災組織に避難所の鍵を預けておくことや、窓等の破壊侵入場所を決め暫定開錠を考慮するとしている。普段から災害の学校と地元町会が連携を密に、協力関係を構築し緊急事態に備えていく。



質 学校の災害対応のマニュアルと周知について問う

災害時にマニュアル通りに行動が出来ず問題が起こった場合、教職員が責められる可能性もあります。学校管理責任者だけがマニュアルを理解するだけではなく全職員が知っておく必要があると考えます。その中には「大切な子どもたちの命を預かり守る避難方法」に加え、災害時において小中学校での「保護者への子どもの受け渡し方法」「地域住民避難の受け入れルール」等のマニュアル化とそのルールの「職員や住民との共通認識」を持つ取り組みを教育委員会は行っているのか。

答 中嶋 敏一 教育長

児童生徒の受け渡し方法や地域住民の受け入れのルールづくりを行っており、マニュアルの周知と共に職員と住民との共通認識の定着に向けて取り組んでいる。



いじめ・虐待等社会問題対策特別委員会 中間報告

いじめ・虐待等社会問題対策特別委員長として議会最終日、下記のように中間報告をしました。

「児童・高齢者・障害者の虐待」の防止対策として、現在取り組んでいる事業を積極的に推し進め「関係機関の連携強化と相談窓口の明確化」を図り、「周知・啓発活動」をさらに進める事が必要と考えます。

「学校等でのいじめ」の防止対策として、能美市でも色々と取り組んでいるが、今の事業をいかに市民に浸透させるかが重要ある。「学校・家庭・地域の三者が何をしたらよいか、具体的な活動計画の見える化」と「対象者だけでなく地域全体へのいじめ防止活動のPR」。地域の人々が学校を支援する「能美市版コミュニティ・スクールの推進」や、小中の教員同士の乗り入れを行う「小中連携の強化」などが効果的と考えられる。以上の施策方針を提言し、中間報告と致します。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail 3926@e-mail.jp http://3926jp.net/

